

# 山下善明先生 略歴



## <生年月日>

昭和24年3月7日

## <学歴>

昭和42年 4月

上智大学 文学部 哲学 [文学士] (昭和47年3月まで)

昭和47年 4月

上智大学 哲学研究科 近現代ドイツ哲学 修士課程入学

昭和50年 3月

上智大学 哲学研究科 近現代ドイツ哲学 修士課程修了 [哲学修士]

昭和50年 4月

上智大学 哲学研究科 博士課程入学

昭和53年 3月

上智大学 哲学研究科 博士課程単位取得後退学

## <職歴>

昭和60年 4月 明星大学 一般教育 人文分野 専任講師 (平成3年3月まで)

平成 3年 4月 明星大学 一般教育 人文分野 助教授 (平成 9年3月まで)

平成 9年 4月 明星大学 一般教育 人文分野 教授 (平成22年3月まで)

平成22年 4月 明星大学 人文学部 全学共通教育 教授 (平成30年3月まで)

平成30年 4月 明星大学 教育学部 教育学科 教授 (現在に至る)「人類と環境、倫理学4、哲学概論、女性の生き方、思想研究Ⅰ、美学1、美学4、言葉の思想」担当

## <学会及び社会における活動等>

個人研究 人間存在の倫理学

医学哲学・倫理学会 (国内学会) 会員 (平成15年まで)

日本哲学会 (国内学会) 会員 (平成29年まで)

平成元年 上智哲学会 (国内学会) 会員

平成元年 上智哲学会 (国内学会) 学会誌編集委員 (平成9年まで)

## ＜教育研究業績＞

### [研究分野]

哲学・倫理学、思想史

### [教育方法の実践例]

1. 講義において、毎回、応答文を、期末に大応答文を書かせ、これを読むことで、受講生と不断に「対話」をする  
平成4年4月～現在に至る

### [作成した教科書、教材]

1. 「初等ドイツ語文法」(阿部雄一氏との共著、同学社) 平成25年2月

### [教育上の能力に関する大学等の評価]

1. 明星大学公開講座 メインテーマ「災害と日本人」において「日本の国土自然を思う」を講演 平成24年11月17日
2. 明星大学公開講座 メインテーマ『海彼へ、海彼から』において「日本の自然、ヨーロッパの《自然》」を講演 平成30年11月24日

## ＜著書＞

1. Identität als Unverborgenheit – Kant, Nishida, Heidegger 単著 平成15年 Ergon Verlag (Würzburg)
2. Identität als Unverborgenheit – Kant, Nishida, Heidegger 増補第二版 単著 平成21年 Ergon Verlag (Würzburg)
3. Von Heidegger zu Dōgen (上記2への補巻) 単著 平成24年 (Ergon Verlag (Würzburg))
4. 美とうつくしき——“あるがまま”についての思索 単著 平成28年 (晃洋書房)
5. 哲学の苑にて 単著 平成31年 (晃洋書房)

## ＜学術論文＞ (上記著書3、5に所収のものは除く)

1. ハイデガーとカントーその序説 単著 昭和52年 上智哲学会哲学論集 (第4号)(上智大学哲学会)
2. 西田幾多郎『善の研究』へ 単著 昭和63年 明星大学研究紀要 人文学部 (第24号)(明星大学)
3. 西田幾多郎『善の研究』へ——付論・その一「明るき世界」 単著 平成4年 明星大学研究紀要 人文学部 (第28号)(明星大学)
4. 《生命》論への第一章 (前半・死) 単著 平成7年 明星大学研究紀要 日本文化学部・言語文化学科 (第3号) (明星大学青梅校)
5. 《生命》論への第一章 (後半・生) 単著 平成8年 明星大学研究紀要 日本文化学部・言語文化学科 (第4号) (明星大学青梅校)
6. 《場所の論理》にみるゲーテの詩 単著 平成10年 明星大学日本文化学部編『普遍文明と民族文化』(明星大学日本文化学部)

7. 言葉. それ自ら表現するもの 単著 平成11年 『表現－目的と手段』(明星大学日本文化学部)
8. 言葉. それ自ら表現するもの・続——「言語文化とは何か」の問いに寄せて 単著 平成12年 『表現II』(明星大学日本文化学部)
9. 生活と人生——一つの存在論的差異として 単著 平成17年 統合学術国際研究所編『複雑系、諸学の統合を求めて』(晃洋書房)
10. 偶然を医やすもの——論理言語の撞着と芸術言語 単著 平成19年 明星大学日本文化学部編『言語と芸術』(明星大学日本文化学部)

<その他> (上記著書5に所収のものは除く)

1. カントと形而上学の問題 単著 昭和62年 明星大学通信教育部報『めいせい』(昭和62年2月号)(明星大学)
2. 魂の問題としての自然環境問題——私たちに救いはあるか 単著 平成10年 明星大学青梅校父兄会機関紙『青梅会報』(第13号)
3. 振り向けば、わが母国語 単著 平成13年 『日本及日本人』(平成13年新春号)(日本及日本人社)
4. 場を聴く——イチローの活躍、長嶋の退任 単著 平成14年 金沢工業大学・場の研究所編『場と共創』(第11号)
5. 哲学の国、ドイツ 単著 平成19年 多摩哲学会誌『パレーシア』(第2号)(多摩哲学会)